

## 重要

### 会員の皆様へ： 英文論文誌 RMB(Reproductive Medicine and Biology) 電子ジャーナル化について(経過報告)と PCメールアドレスのご登録のお願い

拝啓 日頃より本会ならびに Reproductive Medicine and Biology 誌へのご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。

さて、和文誌・ならびに本会ホームページ上におきまして、Reproductive Medicine and Biology(RMB)の電子ジャーナル化につきましては随時ご報告させていただいているかと存じます。編集委員会・理事会でも議論を重ねました最終的な結果として、RMBは2017年1月より、Open Access 出版に移行することいたしました。PubMed Centralに収載されることでPubMedでの検索が可能となることをめざし、より多くの方に閲覧引用していただくことを目的としております。なお、Open Access 出版に必要な著者負担の論文出版費(APC)に関しては当面の間、学会が負担する予定です。

また、その新しい電子投稿システムが9月1日より稼働いたしました。詳細は

<http://www.jsrm.or.jp/publications/rmb.html>

または

[http://www.jsrm.or.jp/publications/rmb\\_announce01.html](http://www.jsrm.or.jp/publications/rmb_announce01.html)

をご確認いただき、投稿への入口は

<https://mc.manuscriptcentral.com/repmedbio>

となりましたのでご案内申し上げます。引き続き会員の皆様より一層の論文の投稿をいただけるようお願い申し上げます。

今後の導入スケジュールは、下記のように進めて参りますので、引き続き弊誌の活性化に会員諸先生方のご協力を賜りたく、ご支援のほどよろしくご願ひいたします。

また、近年電子メール一斉配信にて最新情報や重要なご案内もさせて頂くことが多くなりました。現在、約8割の会員の先生方には個人のパソコン用メールアドレス(PCメールアドレス)のご登録を頂戴しておりますが、PCメールアドレスのご登録を頂戴できていない、または携帯メールアドレスや、施設代表のメールアドレス等のご登録により、本会から発信する情報が行き届かない会員の先生もいらっしゃいます。より等しく会員サービスを提供させていただきたく、RMB電子化導入前までに会員の先生方のPCメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。以下の要領にて期日までにお手続きをいただきますようお願い申し上げます。なお、ご登録がない場合は、定款施行細則第17条、第23条4項の通りのサービスを提供できない場合もございますのでその旨予めご了承ください。

なお、引き続き最新情報は日本生殖医学会雑誌ならびに本会ホームページ上で随時ご案内申し上げます。今後とも本会へのご支援を賜りたく何卒宜しくご願ひ申し上げます。

敬具

記

<RMB電子化>※平成28年度定時社員総会審議内容より概要※

(現在)冊子体発刊で、編集事務(投稿～採否決定)を京都大学出版会、印刷～出版までをシュプリンガー・ジャパン、発送を杏林舎に委託

↓↓

(平成28年1月発刊の1号(Vol.16 No.1)より)

**完全電子化に移行。**業務委託についてもWiley JAPANに一連の作業を一本化

Open Access化によりPubMed Centralへの収載を可能にし、広くRMBを閲覧引用していただくことにより活性化を諮り、最終的にImpact Factor取得を目指す

<PCメールアドレスのご登録について>

**平成28年11月30日(水)までに未登録・携帯メールアドレスご登録・施設代表のメールアドレスご登録の方は以下の要領で変更手続きをお願いいたします。**

本会ホームページ(<http://www.jsrm.or.jp/>):各種手続→会員登録情報変更

または、ご登録いただく**連絡のつくPCメールアドレス**を[info@jsrm.or.jp](mailto:info@jsrm.or.jp)までメールにてお知らせ下さいますようお願いいたします。なお、現在のご自身のメールアドレスのご登録内容は6月または10月に送付されております(10月は再請求のみ)年会費請求書に表示してございますのでご確認ください。

以上

平成28年9月1日  
一般社団法人日本生殖医学会  
理事長 苛原 稔  
編集担当理事 杉野法広  
庶務担当理事 久慈直昭